

燃料電池自動車（クラリティ フューエル セル）の 公用車としての導入について

市では、平成28年11月9日（水）に水素を燃料として走る燃料電池自動車（FCV）を公用車として導入します。

納車される車両は、本田技研工業株式会社が今年3月に販売を始めたFCVの「CLARITY FUEL CELL（クラリティ フューエル セル）」で、水素と空気中の酸素が反応してできる電気で走行し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しない「究極のエコカー」と呼ばれています。

市では、平成26年12月に策定した「水素エネルギー普及促進ビジョン」の中で、燃料電池自動車の公用車への導入のほか、市内に水素ステーションの設置を促進していくこととしており、今後、水素社会の実現に向け、PR用として各種イベントにおいて同車を紹介していきます。

～燃料電池自動車（クラリティ フューエル セル）納車式～

- 1 日時
平成28年11月9日（水） 午後1時30分から
- 2 場所
相模原市役所 本庁舎正面玄関前
- 3 主催者
相模原市
- 4 式典内容
車両納車（かぎの引渡し・写真撮影）
- 5 納車する燃料電池自動車（イメージ）



燃料電池スタック	固体高分子形 最高出力 103kw（140PS）
駆動用モーター	最高出力 130kw（177PS）
動力用主電池	リチウムイオン電池
走行距離	一充填走行距離 約 750km （JC08 モード）
全長×全幅×全高	4,915mm×1,875mm×1,480mm

問い合わせ先
環境政策課
電話 042-769-8240（直通）